

# DIGITABLE 第 47 回勉強会レポート

2011 年 7 月 16 日 於：森下文化センター 第一会議室



Digitable 基礎講座「色相と彩度、明度」：高木大輔講師  
参加者全員による“ライトニングトーク”（持ち時間 5 分）  
Photoshop 研究講座「肌色の研究」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

## Digitable 基礎講座 第 5 回

### 色相と彩度、明度：高木大輔講師

#### ○色の三属性

色の見え方は光源や物体によって変化するが、色味とその濃淡（鮮やかさ）や明暗の三つの要素に分解できる。これは、色相、彩度、明度と呼ばれ、合わせて色の三属性と呼ぶ。

#### ○カラーモデル

色はさまざまな方法で表現され、それぞれの方法は“カラーモデル”を基にしている。例えば、RGB カラーモデルは赤、緑、青の 3 色の光の混合度合いによって色を表現する。Photoshop では、RGB、HSB、CMYK、Lab の 4 つのカラーモデルを使用して色を表示できる。

#### ○色相・彩度

Photoshop の「色相・彩度」機能ではトーンカーブで行うような階調のコントロール以外は、ほとんど全ての色のコントロールが行えるといえる。色相・彩度・明度をそれぞれのスライダで調整する。トーンカーブとの組み合わせで使用するのが基本とされているが、その際無彩色部分に色がつくことを避けるためトーンカーブでグレーバランスを整えてから「色相・彩度」機能を使用するとよいだろう。

#### ○カラーバランス

シャドウ、中間調、ハイライト領域を別々に調整出来るので、ハイライトはブルー気味に、シャドウ域はイエロー気味にといった具合に相反する調整を同時に行うのに適している。

調整量を大きくとれば特殊効果的な使い方も出来るが、本来は色カブリや色の偏り（色偏差）を効果的に調整するものだ。

\*\*\*\*\*

### 参加者全員による“ライトニングトーク”

（各自持ち時間 5 分）

H 講師はパノラマとクーデルカの作品紹介。作者不詳のままロバートキャパ賞を受賞した東欧自由化への記念碑的作品だ。



図 2011-48：分光スペクトル



図 2011-49：色相の連続的な変化



図 2011-50：彩度の連続的な変化



図 2011-51：明度の連続的な変化



カラーバランスは色カブリや色の偏り（色偏差）を効果的に調整するものだ

NYさんは塩釜、石巻での被災地写真報告。  
 KTさんは下町やレインボーブリッジでの作品。  
 SYさんはニンテンドー DS3 による 3D カメラの紹介。  
 STさんはキャノンとパナソニックでの画像比較。  
 YAさんはアメリカの写真集 Skin の紹介。  
 久々参加の FSさんは 80 歳の女性が始めて撮った作品。  
 MMさんは一年前の作品から日本の元気について。  
 KSさんはパノラマの習作。  
 IFさんは野川の 6 月の作品から  
 KKさんは高台の自宅から撮影している雷の写真など。  
 ...

\*\*\*\*\*

## Photoshop 研究講座 平野正志 講師 「肌色の研究」

綺麗な肌色って、どんな色だろう？

これを調べるためにカラーピッカーで表示された色の数値を比較してみる。

SILKYPIX での標準から記憶 1 への変化では、あまりに鮮やか過ぎるという印象をうまく抑えて記憶 2 に落ち着かせるという、心理的な部分を捉えているようにも感じる。美肌は意外と大きくは動いていなさそうだが、やはり標準から少し左横にずらし、鮮やかさを押さえることで美白を狙うようだ。美肌 2, 3 はそこからやはり少し戻して標準に近いところで、やはり白肌をとらえてはいるように見える。フォトショップエレメンツにはフォトショップにない「肌色補正」がある。

スポイトでクリックするだけで自動調整できるが、さらに調整したい場合には下のバーで「日焼け色」の調整、「赤みの調整」ができる、その下には「色温度」もある。

フォトショップには肌色調整がない。

エレメンツ同様に肌色の実を修正するには選択範囲を作るよりなさそうだ。いくつか方法を試してみたが、結論として、フォトショップ本体であれこれ苦労するよりはエレメンツでの調整の方がずっと効果的で楽であるような気がする。通常、エレメンツに新機能が先に掲載され、その後フォトショップ本体にも掲載されるようなので、近々この機能も盛り込まれてくるのかもしれない。

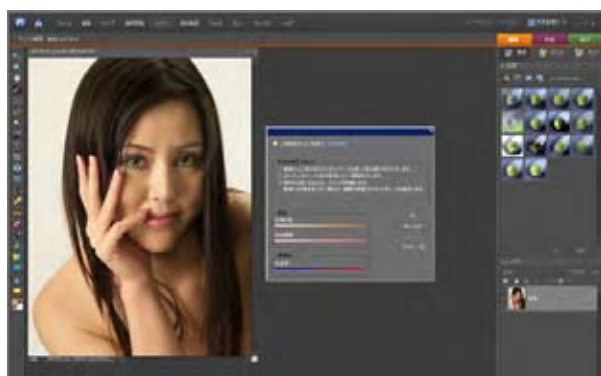
美肌色自体は元になる色の近辺で、より彩度を落として白く見せ、明度も明るくより白く見せているのが分かる。

フォトショップでの対応を望むところだ。

\*\*\*\*\*



今月の 1 枚：H 講師によるその日撮りたてのパノラマ！



フォトショップエレメンツにはフォトショップにない「肌色補正」がある



中央は H 33 S 38 B 85 を H 25 S 28 B 92 に変更。H を大きく変えたので赤味が増える。  
 右は H 32 S 40 B 83 を H 30 S 30 B 82 に変更。微妙な変化だが H は少し赤傾向に、彩度は白方向に修正している。これで肌色も自由になるようだ。